

臨床研究に関する情報公開

当院では以下の臨床研究を実施しています。この研究は通常の診療で得られる試料や情報を利用することによって行います。このような研究は厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、個別の説明と同意を得る代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

この研究に関するお問い合わせがありましたら以下の「問い合わせ先」へご照会ください。また、資料や情報がこの研究で用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので以下の「問い合わせ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【研究課題】 小細胞肺癌の臨床病理学的、分子生物学的特徴に関する研究

【研究責任者】 福島県立医科大学呼吸器外科学講座 鈴木 弘行

【研究代表者】 福島県立医科大学呼吸器外科学講座 武藤 哲史

【研究目的】 小細胞肺癌と診断された患者様には、これまで抗がん剤や放射線治療が用いられてきましたが、十分な治療成績に至っておりません。外科的に切除された腫瘍検体から様々な分子タンパクの発現、さらに一部の遺伝子異常を詳細に解析することにより、予後を延長させるために真に重要な分子情報を明らかにすることで、今後同様な疾患を有する患者に対する適切なケア、治療に役立てることができると考えます。

【研究期間】 倫理委員会承認後～2019 年 12 月

【研究対象】 2003 年 1 月から 2013 年 1 月までの 10 年間に、福島県内及び北海道・東北地域及び他の参加施設で肺癌切除を施行している施設において病理組織学的に小細胞肺癌と診断され、かつ外科的切除が施行された患者様を対象といたします。

【研究に用いる試料や情報】 該当患者様のデータを本院ならびに対象施設それぞれで集積いたします。データ内容は、該当患者様の切除した腫瘍検体を用いて免疫染色によって DLK-1 及びその関連分子発現を見ることといたします。それに加えて研究責任者の監督のもと、主任研究者が各対象施設の患者様個人を匿名化されたデータを収集して統計学的解析を行い、該当患者様の治療効果を上げ、真に後を延長させる分子情報を獲得いたします。

【外部研究機関への資料や情報の提供と提供方法】 今回扱う臨床情報は、先行研究である H0T1301A 研究で収集されたものですが、本研究ではあらためて収集することとします。研究事務局から各施設へ登録用紙を郵送、各施設で記載し匿名化された状態で福島県立医科大学呼吸器外科学講座へ郵送します。

【研究組織】

福島県立医科大学医学部呼吸器外科学講座 鈴木 弘行
北海道大学大学院医学研究院・医学院 病理学講座 腫瘍病理学教室

北海道がんセンター 呼吸器内科
 北海道大学病院 内科 I
 北海道大学病院 循環器・呼吸器外科
 市立札幌病院 呼吸器内科
 KKR 札幌医療センター呼吸器センター
 腫瘍内科
 北海道大学病院 腫瘍内科
 旭川医科大学病院 呼吸器センター
 札幌医科大学医学部
 呼吸器・アレルギー内科学講座
 王子総合病院 呼吸器内科
 旭川医療センター 呼吸器内科
 手稲溪仁会病院 呼吸器内科
 岩見沢市立総合病院 内科 (呼吸器)
 独立行政法人地域医療機能推進機構北海道病院
 呼吸器センター呼吸器内科
 北海道中央労災病院 内科
 帯広厚生病院 呼吸器内科
 宮城県立がんセンター 呼吸器内科
 福島県立医科大学会津医療センター
 感染症・呼吸器内科
 福島県立医科大学会津医療センター
 呼吸器外科
 竹田総合病院 呼吸器内科
 竹田総合病院 呼吸器外科
 会津中央病院 呼吸器科
 太田西ノ内病院 呼吸器センター
 呼吸器内科
 坪井病院 呼吸器内科
 総合南東北病院 呼吸器外科
 南相馬市立総合病院 呼吸器科
 白河厚生病院 呼吸器外科
 福島赤十字病院 呼吸器外科
 大原総合病院 内科
 済生会福島総合病院 呼吸器科

田中 伸哉
 王 磊
 大泉 聡史
 榊原 純
 加賀 基知三
 秋江 研志

 小島 哲弥
 木下 一郎
 大崎 能伸

 高橋 弘毅
 河井 康孝
 藤田 結花
 小場 弘之
 上村 明

 原田 敏之
 大塚 義紀
 山本 真
 福原 達朗

 棟方 充

 樋口 光徳
 穴沢 予識
 星野 実加
 山岸 茂樹

 松浦 圭文
 森 清志
 藤生 浩一
 神戸 敏行
 大杉 純
 管野 隆三
 海瀬 俊治
 勝浦 豊

【問い合わせ先】

北海道札幌市豊平区平岸 1 条 6 丁目 3 - 4 0

KKR 札幌医療センター 所属 腫瘍内科 担当 小島哲弥

電話 011-822-1811 FAX 011-841-4572